

日なち

宝龍会
第38号龍正寺護持会

(平成23年7月)

～ ■ 目に見えない世界 ■ ～



原発事故があつて3ヵ月が過ぎ、まだに解決でき
ない状態が続いています。

国会もハチャメチャな気がします。

放射能が風により、雨が降り、こんなに遠くまでと...

目に見えないば「対応できるかもしれないのど
くが対応の仕様が無いのが、現状です。

電気がなければ「不便だ」と便利優先で目に見
えない怒りしさをどこかへ追いやり人間達の

都合で動いていた結果かもしれません。

夜でも普通に昼と同じように行動が出来
てしまうのも間違いなのかもしれませんネ。

しかし、私達は目に見えるものが絶対に正

しいと信じています。

考えたら、私達の生活の大半は目に見えない物の中で生きているのかもしれない。空気にしても、大気汚染にしても...

今は時代が進化した、科学的に実証される事も増え大切なものをどんどん忘れ、変化に感も持ってしま、こいる気がします。

そしてストレス社会になり、時代は便利になっているのに自殺者はどんどん増えているという何故という事が多くあります。

我が家の息子も先日、意識はあるのに、意識なく動いてしまう意識障害を起こしました。警察にもお世話になりました。

お陰様で今は普通に学校へ行、ています。自分だけは関係ないとか、そんなふうにはならないとかは、まったくない事を実感しています。

もしかしたら、家の息子のように、同じように苦しんでいる子供達も沢山の人がおしれません。

今、親として、この子を見守る、という事の大切さと命の尊さを強く感じています。

昔の私なら、お寺に行っていて何故こんな事がおこるのか？と考えていたかおしれません。しかし今回の事で、息子の大切さと家族の距離感、相手の心と肌身を感じることができました。きっと息子が一番きつかったと思います。

お寺に行っていたから大事に至らずに済んだと痛感しています。

東日本大震災で身内が行方不明の方は本当に苦しんでいると思います。さっきまで元気な姿を見ていたならば尚更ではないかと思います。

私達の周りには目に見えない世界があることを受け入れながら、うまく共存し感謝し譲り合いの気持ちで生きていく事。そして信仰とは、今まで感じなかった事に気がつかせて貰えたりしながら前人進む力を導いてくれるものかおしれません。PP

任職一言

お盆を迎える時期になりました。盆は地域によっても、新暦の7月15日(7月13日~7月16日)月遅れ8月15日(8月13日~8月16日)、旧暦の7月15日(7月13日~7月16日)と行事が違っていきます。

盆は祖先の霊を供養する仏教行事です。

お盆の入りの日は菩提寺とお墓へお参りし帰宅後に日が暮れてから門口など屋外で「迎え火」を焚きます。これは「ご先祖様、どうか迷わないうちへ家に帰ってきてください」という気持ちを込め、帰るべき家の目印の役目と果たすものです。

そして三日間家族全員でご先祖の供養をされご先祖も懐かしい我が家で家族と一緒に時間を過ごされます。再び仏様の所に戻って行かれる時に焚くのが「送り火」です。「迎え火」と同様に「帰りに迷わないうちに」という気持ちを込めて火を焚きます。迎え火と送り火には懐かしいご先祖様との「出会いと別れのけいめい」の意味です。

ここに盆の行事迎え火と送り火について書きました一年に一度家族全員でご先祖様の供養をいたしましょう。

合掌

…♡ 損得なしの思いやり♡…

暑い日が続きますが皆様体調など崩されていませんか？今年は一気に夏になった感じで私自身も体がついていけず早々に体調を崩してしまいました。健康管理には気を付けたいですね。

大震災から3ヶ月が経ちました。過去に無い大規模な今回の震災！復興のめどもまだ全くたっていない状態に今の日本の政治の弱さを感じます。お互いに協力しあい譲り合うバがあれば救われる人は沢山ののに…… 夕分 子供達でも分かる事が政治家の方々には無理なんですね。夕分 嫌な高の中に入ってしまうと何が良くて何が悪いのか何も見えなくなってしまうんだと思います。やはり相手を受け入れる気持ちは大切な事ですね。

私自身もつい何処かで自分を一番にしてしまい頭では分かっているも相手を受け入れる事が出来ずイライラしてしまう事があります。イライラの原因は何か..? 自分自身なんて事はよくあります (><) ある意味わがままが言えるうちはかならず幸せがもたせられませんね。

でも 本当に大切な人を守ろうと思ったら自分を一番
になんて考えてはいられないですね。

毎日 家族皆で揃っていただける この事だけでも十分な
幸せを頂いていると思います。

深く感謝するべきです。

相手に対して 認められたいとか いい人に見られたい
とかいう思いではなく 損得なしの思いやり的心が持て
る様になれる事が大切ですね。損得なしの素直な気持
ちは絶対に相手に伝わると思います。

相手を 思いやる気持ちそして大切な人を守る力を養っ
ていけるように これからも 母として 妻として 嫁として頑
張っていきたいと思います。〇〇

時にハたばった時は 甘えちゃうと思いますが”……

それで”よし! として 一歩 時に半歩おっ進んで”
いきたいと思います。〇〇



＝ 入院から学ばせて頂いたこと ＝

先日、3才の息子が肺炎で入院しました。入院先の子供病棟では、沢山の親子が病気で闘っています。産まれて数か月の赤ちゃんが咳込んで苦しそうに泣いていたり、夜中になると痰がからんで無呼吸になってしまい、その度に処置をしてもらう子がいたり・・・息子もトイレ以外はベットの上から動けません。体もやせて、脚も細くなりました。健康な体でいられる事がどれだけ有難い事が、身に染みて感じています。

同室の子は1才の保育園児。付き添いのお母さんが、「あんたのお陰で、仕事か溜まって大変なんやで！」と口にしてるのを耳にしておりました。親子は夜もなかなか寝られず大変な様子で、つい出てしまった心の叫びにどちらの気持ちも分かる気がして胸が痛みました。次の日、その母親は朝から出勤の準備。交代の付き添いの方も早くからみえていました。すると急に子供の息が苦しそうになり、元気もなくなった様子。母親は会社に連絡して、朝からの出勤はできなくなったと伝えておりました。その後は部屋替えがあったので分かりませんが、私には、その子が「お母さん、行かなくて!!」と言っているように思えて仕方ありませんでした。

毎日の生活の中で、うまく事が進まない、フイイライラして
しまうけれど、そんな時にその心を落ち着けて子供と向
き合い、大きな愛情で包んであげられる、そんな母親で
ありたいと思いました。日々、勉強ですね。

息子はとにかく動く事が大好きで、ヒーローごっこは
日常茶飯事。もう少し落ち着いてくれたらと思う事が
よくありますが、それは我が子の個性... やっぱり元
気が一番です。今は、ベットの上で本を読んだり、トラ
ンプでゲームを考えて遊んだりしています。こんなに
集中力があってんだなあ。今まで気付かずに、子
供の一面を見させてもらっています。これからの子育ての
ヒントになりました。そして、家族の協力のおかげで、付
き添いも安心させて貰える事に、感謝の毎日です。

一日も早い息子の回復と、家族の健康、安全を願
っています。今度の日曜日には、息子の七夕発表会が控
えています。元気に踊り、歌う息子の姿を、家族全員
で応援してあげられまじょうに...

南無妙法蓮華經

☆ ☆
☆ 祈り...そして... ☆
☆ ☆

平成 23 年もあつという間に半分が過ぎてしまいました。
この半年は決して忘れる事のない、大きな災害に見舞われ
れました。この大震災で多くの大切な命が奪われました。
そして今、まだ数多くの方々が行方不明です。

この現状に深く心が痛みます。もうすぐ、お盆になります。
御供養をしてあげたくても、出来ない方々がたくさんいらっしゃる
のでは...。どのような思いでお盆を向えられるので
しょう。せめて、国会議員の皆さんに自分達の立場や見解、
欲望を捨てて、まずは被災地の方々の為に精一杯働い
て欲しいと強く思います。

過去の日本には、御国のために身を投げ出して一心不乱
に働いてくれた人たちが、この日本を支えてくれました。

国民も安心して任せることが出来ました。

今回の災害は私達に何かを問いかけられているように思っ
ます。誰かが何とかしてくれるのではなく、自分達でなん
とかしていく事が大切なのです。

ある報道番組で、「村全体で節電対策をしている!!」
その村は 災害以前から節電に取り組んでいたそうです。
国まかせではなく、自分達が自分達のカで、できる事から
町・村・市のために活動をしていかなくてはいいと
強く思いました。そして、私達の代表者となり国を動かして
くれる人材を選ぶ選挙にはもっと、しっかりとした目を持って
人選したいと思いました。国民一人、一人が改めてそのよ
うな所も気づいていくべきだと強く、強く思いました。

もうすぐお盆です。亡くなられた方々の分も一所懸命生きて、
この世の中を良い、住みやすい世の中にしていかなくてはいい
と思います。それが亡くなられた方々への御供養となる
のではないのでしょうか。前々回の「日なた」にも載せましたが
「祈りの言葉」私は必ず毎日唱えています。

それは何も出来ない私ですが、この祈りが被災地に届け!!
そして1日でも早く、安穏な日々が訪れますように! このお盆
に被災地へ被災者の方々へ祈りを捧げましょう。

祈りの言葉

恭しく仏、法、僧の三宝の御前に合掌し、祈りを捧げます。

謹んでお題目の功德をもって、東日本大震災により尊いのちをなくされた方々のご冥福を、心からお祈りいたします。

南無妙法蓮華經

さらに願わくは、本仏釈尊の慈悲の光があまねく世を照らし、困難な日々を強いられている被災者の方々には、一日も早く心身ともに安らかな時を迎え、被災地の復興が速やかに達成されますよう、お祈りいたします。

南無妙法蓮華經

私たちが日蓮宗宗徒はいのちを尊び、立正安国の教えのもと、異体同心をもって「安穏な社会づくり」に邁進することをお誓いいたします。

「我、深く汝等を敬う。敢えて軽慢せず。」

南無妙法蓮華經

* 「我、深く汝等を敬う。敢えて軽慢せず。」とは、法華經常不輕菩薩品で、常に敬いの心をもつて人と接すべきことを説いた教えです。

立正安国・お題目結縁運動では、この「但行禮拜」の深敬精神を運動の基本精神としています。

—— 動物達から学ぶ ——

ある朝の事でした。ゴミ収集日でもないのに、カラスが大きな鳴き声を出していました。すると、娘が「黒猫とカラスが喧嘩をしている!!」とさけび声をあげました。

私はカラスが野良猫にやられるのでは…。と焦りました。

以前にもハトやつばめ…。などの死骸を片付けた事があります。慌てて外へ飛び出すと、猫もカラスも逃げていきました。

しかし、やはりそれだけではありませんでした。

一羽のカラスが横たわっていました。倒りに行くと、先ほど飛び立って行ったカラスが戻って来て鳴き続けているのです。

どうやらつかいだったようです。死骸を片付けた後もまた鳴き続けていました。あちら、こちらと飛び回るその姿は必死に探しているように思えました。

「かわいそうに!あの野良猫め!」と腹が立ちました。

でも本当は違ふんです。猫もカラスも生きて行く為に必死なのです。だから、野良猫もカラスもゴミ箱をちらかして食べ物をあさっている。私の家の周辺では野良猫がドンドンふえています。

それは「かわいそうだから…。」と餌を与えている人がいるのです。」

しかし、餌をあたえるだけではない。決して飼育をしている訳ではないのです。ですから、野良同士でまた子猫が生まれ、そして野良猫がまた増える。家の敷地内に糞尿をして、ゴミをあさり。結局、猫達は人間に嫌がられてしまう。

ちょっとした優しさのつもりが、仇になってしまうのではないだろうか？
この頃カラスもかなり増えました。カラスはとても頭の良き動物です。

一度、簡単に餌をえる事を知れば、必ずまた餌を取りにきます。

ゴミ収集日には各収集場所に黄色・青色のネットの山をたたくさん見かけます。以前はこのような光景を見る事はありませんでした。

いつかどうでしょう。何かきっかけで何か原因でしょうか？。

人間は住みやすい生活を求めてきました。今もそうです。

しかし、求めたものは時として、住みやすいを乗り越えてしまい、楽(らく)な生活を求めすぎていないでしょうか。

今が楽(らく)楽(らく)簡単、めんどくさい事や難しい事はイヤ
今さえよければ、楽(たの)しければ、それで良い。

人と動物との関わり方も全て...。今がよければ...

そんな後々、お互いの為にどのような影響があるかも考えずに生活しているように思います。

私は動物産から学ぶ事ができました。

人間は智慧のある動物です。

他の動物とはちがうのですから、人間としてどのような行動を取るべきか、決してその場の情けで物事を判断したりしないで、しっかりと考えて行動したいと思います。

今日もカラスが鳴いています。カラスの死骸のあった場所を
あちら、こちらと歩いていきます。

※ 9月1日(木)から「ライフ」のち100%という映画が
全国公開します。

大切な事は動物たちが教えてくれる

あなたの生き方を変えてしまうほどの100%真実…と

書いてみました。

是非、観てみたいと思う映画です。

〈7月の予定〉

7月1日(金)	各々の時間ど	清掃・準備活動
9日(土)	〃	飾り付け お供物
10日(日)	終了後	片付け 準備
12日(火)		お供物
13日(水)	終了後	片付け 準備
17日(日)		お供物

〈寺院行事内容〉

7月10日(日)	午後1時半より	盂蘭盆施餓鬼大法要
7月13日(水)	午前10時より	宗祖日蓮聖人報恩会 大古文尊天祈願会
7月18日(月)	〃	鬼子母尊神 祈禱会 七面大明神